

教育実践学会

第15回大会

プログラム

会 期 : 2007 (平成19) 年6月30日 (土)

会 場 : 三の丸市民センター
(茨城県水戸市三の丸1-6-60)

教育実践学会事務局

〒310-8585 茨城県水戸市見和1-430-1
常磐大学 人間科学部 心理教育学科 森山賢一研究室内
TEL/FAX 029-232-2574
e-mail : kenichim@tokiwa.ac.jp

< 大会日程 >

9 : 00~	受 付	
9 : 30~12 : 00	自由研究発表	
	第 1 会場	(研修室)
	第 2 会場	(会議室 1)
	第 3 会場	(会議室 3)
12 : 10~13 : 00	理事会	(会議室 2)
13 : 10~14 : 40	講 演	(会議室 3)
14 : 40~15 : 10	休 憩	
15 : 10~15 : 40	総 会	(会議室 3)
16 : 00~17 : 30	情報交換会	(ホール)

<大会参加要項>

1. 受 付 : 6月30日(土) 9:00より会場入口で行います。
2. 学 会 費 : 2007年度会費は、5000円です。
(2006年度以前の会費未納の方は合わせてお支払い下さい。)
3. 参 加 費 : 800円(発表要旨集録代含む)
会員以外の一般の方は1500円、学生は500円にて受け付けております。
4. 情報コーナー : 今大会も設けます。研究発表資料や会員の方々に配布を希望する資料等をお持ちの方は、当日受付までお持下さい。
若干ですが、教育書籍の展示販売も行います。
5. 情報交換会 : 同会場にて会費3,000円で行います。
6. 連絡先 : 常磐大学人間科学部 心理教育学科 森山賢一研究室内
〒310-8585 茨城県水戸市見和1-430-1
TEL/FAX : 029-232-2574
Mail : kenichim@tokiwa.ac.jp
7. 昼食の必要な方は、受付にてお弁当を550円にて販売いたします。
8. 駐車場について : 三の丸小学校の駐車場をお借りしております。

自由研究発表 1 9:30 ~ 12:00 (研修室)

座長 瀬尾京子 (常磐大学非常勤講師)

9:30

学校教育におけるカリキュラム開発の理論に関する研究
—生活科・総合と教科のバランス・調和を目指して—

森山賢一 (常磐大学人間科学部)

10:00

第47次日本南極地域観測隊との交流を通じた授業実践

千葉雄司 (慶応義塾幼稚舎)

10:30

心を傾けて聴き合い、語り合う生徒の育成を目指した校内研究の成果と課題

渡邊洋子 (茨城大学教育学部非常勤講師)

11:00

論理的思考を養う国語教育の在り方
—新聞を利用した書く活動を通して—

井川裕之 (慶応義塾幼稚舎)

11:30

児童生徒の理解と指導における空のコミュニケーションの重要性

柏頼英 (常磐大学非常勤講師)

自由研究発表 2 9:30 ~ 12:00 (会議室1)

座長 中川 稔 (小美玉市立橋小学校)

9:30

稲森縫之助の学校経営思想に関する一考察
—成城小学校における設立趣意書をもとにして—

寺田 叔弘 (常磐大学大学院)

10:00

発声に関する研究
—教科教育の立場から発声教育の必要性に鑑みて—

藤田 文子 (茨城大学教育学部)

10:30

自然から学ぶ楽しさを味わう環境教育

青木 昇 (坂東市立七郷小学校)

11:00

人とかかわる楽しさを実感できる集団づくりを目指す支援の在り方
—子どもたちの支援ニーズを踏まえた学校生活スキルトレーニングの実践を通して—

河西 現代子 (常陸大宮市立第一中学校)

11:30

伝え合う力を育てる支援の在り方
—複式学級第4・5学年における対人関係ゲームを中心とした
プログラムの編成とその実践を通して—

高崎 美恵子 (行方市立麻生中学校)

自由研究発表 3 9:30 ~ 12:00 (会議室3)

座長 上松信義 (常磐大学非常勤講師)

9:30

小学校理科における児童のデータ解釈に関する研究
ー植物の成長に着目してー

宮本直樹 (筑波大学大学院教育研究科 阿見町立本郷小学校)

10:00

中学校理科における仮説設定能力の育成に関する研究

小林和雄 (龍ヶ崎市立城南中学校)

10:30

社会をつくる意欲と力をはぐくむカリキュラムの開発

高橋資明 (茨城大学教育学部附属中学校)

11:00

考える楽しさやそのよさが分かる算数科学習の指導の在り方
ー小学校第6学年 トピック「親がめ子がめ孫がめ乗せて」
における指導と評価の一体化を通してー

増田忠廣 (ひたちなか市立田彦小学校)

11:30

確かな学びを構成する授業

小池浩一 (常陸大宮市立第二中学校)

理 事 会

12:10 ~ 13:00 (会議室2)

講 演

13:10 ~ 14:40 (会議室3)

「 幼児児童生徒の学びと教師の学び 」

講師 南 館 忠 智

(上越教育大学名誉教授 常磐大学人間科学部 教授)

子供たちの学びに迫ろうとすると、それを「幼児児童生徒の学び」と捉えてはいけない…といわれたら、戸惑いを感じられるかもしれません。しかし、その後「幼児児童生徒の学びと教師の学び」という枠組みで捉えることこそが肝心…と続くとしたら、いかがでしょうか。

子供たちの学びに迫ろうとすると、彼らの「自己有能感」を念頭におくだけでは不十分…と考えられませんか。「自己有能感と自己有用感」を共に念頭におくこと（さらには「自己有能感と自己無能感と自己有用感」の4点セットで考えることこそ）が必要…なのではないでしょうか。

子供たちの素直な言い分をあるがままに聞き出すことは、じつに奥の深い営みです。学びを彼らと力を合わせて創り出していくことは、さらに奥の深い営みです。

略 歴 等

1957年から東京教育大学の教育学部と大学院教育学研究科で教育心理学を専攻した。その後、1967年から三重大学教育学部に1983年から上越教育大学学校教育学部、2004年からは常磐大学人間科学部に勤務し、現在に至る。その間、幼児児童生徒等の心理発達と彼らの学校教育場面における学び活動を巡って追求を続けてきた。

総 会

15:10 ~ 15:40

(会議室3)

情 報 交 換 会

16:00 ~ 17:30

(ホール)